

## 履修モデル ビジネスマネジメント領域

専門領域 : ビジネスマネジメント領域			
1年次		2年次	
マネジメント	2単位	アカウンティング	2単位
ストラテジー	2	ファイナンス	2
マーケティング	2	IT マネジメント	2
経済システム	2		
事業構想基礎講座	2	ビジネスマネジメント演習Ⅲ	4
ビジネスマネジメント演習Ⅰ	4	ビジネスマネジメント演習Ⅳ	4
ビジネスマネジメント演習Ⅱ	4		
プロジェクト研究または英語特論	4または2		
合計36単位または34単位			
<p>【解説】 MBAを意識した履修モデルである。経営・経済を基礎に会計・財務・IT等のビジネスプランを学ぶ上での基幹的な科目を網羅している。理解が一定のレベルに達している講義科目や各人が専門に研究したい分野を適宜加減して履修すること。</p>			

## 履修モデル ビジネスプランニング領域

専門領域 : ビジネスプランニング領域			
1年次		2年次	
コミュニティビジネス	2単位	福祉ビジネス	2単位
地域交流ビジネス	2	商業ビジネス	2
地域経済ビジネス	2	地域デザイン	2
マーケティング	2	社会システム	2
事業構想基礎講座	2	ビジネスプランニング演習Ⅲ	4
ビジネスプランニング演習Ⅰ	4	ビジネスプランニング演習Ⅳ	4
ビジネスプランニング演習Ⅱ	4		
プロジェクト研究または英語特論	4または2		
合計38単位または36単位			
<p>【解説】 商業開発、観光、医療福祉、地域の事業を研究・検証することが中心である。商業、観光、医療福祉、地域に存在する様々な事業を理解することを第一の目的とする。同時に地域における人やモノの流れ、空間の認識手法などを商業分野や環境分野から学び、地域に展開する事業を総合的に理解し、問題解決をする力を養う。</p>			

## 履修モデル 空間デザイン領域

### 例 1

専門領域 : 空間デザイン領域			
1 年次		2 年次	
設計プロセスマネジメント	2 単位	文化環境デザイン または環境デザインマネジメント	2 単位
ファシリティマネジメント	2	環境情報デザイン	2
施設デザイン	2	地区デザイン	2
地域デザイン	2	ビジネスマネジメント領域科目 またはビジネスプランニング領域科目	2
事業構想基礎講座	2	空間デザイン演習Ⅲ	4
空間デザイン演習Ⅰ	4	空間デザイン演習Ⅳ	4
空間デザイン演習Ⅱ	4		
空間デザイン特別演習 AⅠ または BⅠ	2		
空間デザイン特別演習 AⅡ または BⅡ	2		
プロジェクト研究または英語特論	4 または 2		
合計 40 単位または 38 単位			
<p><b>【解説】</b> 「事業のわかる実務設計者」を目指す学生の履修モデル。一級建築士資格要件であるインターンシップ関連科目を履修することで実務経験 1 年相当の単位を修得し、実社会での活動の可能性を広げるモデル。建築企画や方法論、施設計画設計や地域地区計画に関わる科目により、建築や都市についての高いレベルでの理解と思考力・洞察力を養う。また、文化環境や環境情報等の領域の広がり可能性について学ぶ科目、ビジネスマネジメント系他領域の科目についても、履修を促し、事業目的に合致した施設設計のあり方について理解を深める。演習では、より具体的な設計課題やプロジェクトに取り組み、総合的に実践的に建築設計について学ぶ。</p>			

### 例 2

専門領域 : 空間デザイン領域			
1 年次		2 年次	
コミュニティビジネス	2 単位	地区デザイン	2 単位
地域デザイン	2	ファシリティマネジメント	2
文化環境デザイン	2	環境デザインマネジメント	2
環境情報デザイン	2	ファイナンスまた地域交流ビジネス	2
事業構想基礎講座	2	空間デザイン演習Ⅲ	4
空間デザイン演習Ⅰ	4	空間デザイン演習Ⅳ	4
空間デザイン演習Ⅱ	4		
プロジェクト研究または英語特論	4 または 2		
合計 38 単位または 36 単位			
<p><b>【解説】</b> 高付加価値型の不動産デベロッパー、地域戦略プランナー、コミュニティアーキテクト等として、デザイン案の質を評価できると同時に、ビジネスの知識を得て投資を引き出せる事業スキームを構想することができるような人材イメージ。公共公益系ならコミュニティビジネスや地域交流ビジネス、企業系ならファイナンスを受講すると良いだろう。</p>			

## 履修モデル 情報デザイン領域

### 例 1

専門領域 : 情報デザイン領域			
1 年次		2 年次	
情報ネットワーク	2 単位	IT マネジメント	2 単位
分散システム	2	マーケティング OR 商業ビジネス	2
情報システム設計	2	情報デザイン特別講義	2
ビジネス・インテリジェンス	2		
事業構想基礎講座	2	情報デザイン演習Ⅲ	4
情報デザイン演習Ⅰ	4	情報デザイン演習Ⅳ	4
情報デザイン演習Ⅱ	4		
プロジェクト研究または英語特論	4 または 2		
合計 36 単位または 34 単位			
<p>【解説】システム設計分野において、ビジネス領域での高度情報システムエンジニアを目指す履修モデルである。1 年次において、その基礎となる情報システム設計に関する講義科目を履修し、当該分野の最新の技術や知識を修得する。2 年次において「情報デザイン特別講義」や「IT マネジメント」、「マーケティング」（あるいは「商業ビジネス」）を履修する。これにより、IT に関する経営戦略やビジネスの実際が理解でき、将来的にビジネス領域のシステムに関するコンサルティングのできる人材となることを目指すものである。</p>			

### 例 2

専門領域 : 情報デザイン領域			
1 年次		2 年次	
インタラクティブデザイン	2 単位	環境デザインマネジメント	2 単位
知能メディア	2	IT マネジメント	2
情報メディアシステム	2	情報デザイン特別講義	2
情報システム設計	2		
事業構想基礎講座	2	情報デザイン演習Ⅲ	4
情報デザイン演習Ⅰ	4	情報デザイン演習Ⅳ	4
情報デザイン演習Ⅱ	4		
プロジェクト研究	4 または 2		
合計 36 単位または 34 単位			
<p>【解説】メディアデザイン分野において、メディア系のシステムエンジニアや Web デザイナーを目指す履修モデルである。1 年次には主にメディアデザイン分野の講義科目を履修するとともに、「情報システム設計」を履修し、当該分野における技術や知識を修得する。2 年次では「情報デザイン特別講義」の他、他領域の「環境デザインマネジメント」「IT マネジメント」を学ぶことにより、環境デザインや IT に関連したマネジメントを理解し、さまざまなプロジェクトにおける新しいメディアの構築とマネジメントができる人材となることを目指す。</p>			

例 3

専門領域： 情報デザイン領域			
1 年次		2 年次	
分散システム	2 単位	情報システム設計	2 単位
ビジネス・インテリジェンス	2	ITマネジメント	2
商業ビジネス	2		
事業構想基礎講座	2	情報デザイン演習Ⅲ	4
情報デザイン演習Ⅰ	4	情報デザイン演習Ⅳ	4
情報デザイン演習Ⅱ	4		
プロジェクト研究	4		
合計 32 単位			
<p><b>【解説】</b> 企業等が保有する大規模データを活用し、企業の収益改善や社会の仕組みの改善につなげるデータサイエンスと呼ばれる技術が近年注目されている。こうした中、情報システムやデータ解析に関する技術と企業経営の知識を身に付け、データサイエンティストとして活躍できる人財の育成を目指す。</p> <p>[修了までに修得できるスキル]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○RDB, KVS によるデータベースの設計, 構築</li> <li>○SQL, NoSQL によるデータの抽出, 加工技術</li> <li>○SAS, SPSS, R 等主要な BI ツールのオペレーション技術</li> <li>○多変量解析を始めとした統計解析の知識</li> <li>○マーケティング, 流通を始めとした経営戦略の企画・立案のスキル</li> </ul>			